

# 調査1 調査票



## 社会的孤立を背景とする課題に関する調査票

### ご回答にあたって

- 本調査票は、現在の任期(平成25(2013)年12月1日～現在まで)にご自身が関わった人(世帯)のうち、「社会的孤立」状態にある人(世帯)について、お尋ねするものです。
- 内について、あてはまる選択肢に○をつけていただくか、該当する内容をご記入ください。
- 回答はお分かりになる範囲でご記入ください。当事者や関係者に照会する必要はありません。不明な部分は空欄のままで結構です。**
- 特に期日の指定がない設問については、平成28年4月1日現在の状況をご回答ください。平成28年4月1日現在の状況が把握しづらい場合は、直近の状況をご回答ください。

### 問1 現在の任期(平成25年12月以降)に

「社会的孤立」を背景に課題や困りごとを抱えている人(世帯)を支援した経験はありますか。

※本調査における「社会的孤立」とは、「民生委員・児童委員がその人に関わろうとした時点で、周りに助けを求められる相手がいない状態、また、その人の周りにその人を気にかける人が誰もいない状態」をさします

<p>1. ある      2. ない</p>	→	<p><b>問2 昨年度のすべての活動のなかで、専門機関*につないだ件数は何件ありますか。</b>※専門機関の例示は、問9(2)を参照してください。</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 60px; margin: 0 auto;"></div> <p>件</p>
↓		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                 続けて、 〔調査2〕にご回答にください             </div>	←

以下は、あなたが支援した「社会的孤立」を背景に課題や困りごとを抱えている人(世帯)のうち、**相談支援が最も困難だった(である)人(世帯)についてご回答ください。**

※「困難だった」事例とは、例えば、下記のような事例です。

- 民生委員や専門機関、近隣等との接触を拒むような事例
- その人と接触するまでに時間を要した事例
- 専門機関の支援につないだものの、専門機関からの支援を本人が拒むような事例
- その人に合う既存のサービスや専門機関等がなく、民生委員として、個人で支援せざるを得ないような事例
- 専門機関につないだものの、有効な支援ができず、引き続き民生委員が日常生活上の支援を続けざるを得ない事例
- 専門機関が関わっていたり、認知しているが、有効な支援ができていない事例

### 問3 事例の概要をご記入ください。(1事例)

<p>記入例</p>	<p>80代の認知症の母親と50代の無職の息子の世帯で、母親の年金収入で生活している。母親の介護を理由に息子は就労しておらず、地域包括支援センターが訪問しても会うことを拒否している。訪問して話をするだけが続けているが解決の糸口が見えない。</p>

**問4 当事者その人および同居家族の現在の状態及び課題についてお尋ねします。**

(1) 支援開始時点または現在の状態及び課題としてあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 身体的な病気・けが	18. 高齢者虐待
2. 身体障がい(疑い含む)	19. 外出が困難
3. 知的・発達障がい、精神障がい(疑い含む)	20. 認知症
4. 外国籍住民	21. 在宅介護が困難
5. 刑余者(刑務所等からの出所者)	22. 必要な介護や生活支援を受けていない
6. 路上生活者(行旅人含む)	23. 失業・リストラ
7. 被災者	24. 就労不安定
8. 自殺企図	25. 働く意志・教育を受けようとする意志がない
9. 依存症(アルコール・薬物等)	26. 借金の返済が困難
10. 精神的疾患・精神面の不調(うつ等)	27. 親の年金頼みで子が無職
11. 児童虐待	28. 住まい不安定(立ち退き等)
12. 家庭での養育が困難	29. ゴミ屋敷
13. 不登校	30. 近隣住民とのトラブル
14. 非行	31. ひきこもり
15. 家庭内暴力	32. その他(具体的に: _____)
16. 家族が不仲	33. いずれも該当なし
17. ひとり親世帯	

(2) (1)で○をつけたもののうち、その人(世帯)にとって緊急性や影響が大きい課題を3つまで選んで、1～32の番号と、その概況をご記入ください。

	番号	状況
記入例	29	ごみ出しがでずくにベランダにゴミを溜め、悪臭のため近隣から苦情が出ていた。

**問5 相談支援にあたることになったきっかけとして、最も近いものにひとつだけ○をつけてください。**

1. あなた自身の訪問での発見	8. 学校(小・中学校等)からの連絡や相談
2. 民児協会長・事務局からの連絡	9. 保育所、幼稚園、認定こども園からの連絡や相談
3. 本人・家族からの相談	10. 社協からの連絡
4. 近隣住民、自治会・町内会からの相談	11. 地域包括支援センターからの連絡
5. 福祉事務所/市・区役所等からの連絡	12. 上記以外の関係機関からの連絡
6. 児童相談所からの連絡	13. その他(具体的に: _____)
7. 保健所・保健センターからの連絡	

**問6 関わろうとした時点で、その人(世帯)がそうした課題を抱えていることを、近隣住民は気づいていましたか。**

1. 気づいていた

2. 気づいていなかった

3. 不明

**問7 世帯(同居)の状況についてお尋ねします。本人と同居家族のそれぞれの個人の状況についてご記入ください。本人以外がない場合は、本人欄のみご記入ください。**

下記選択肢のイ～リにあてはまらない、もしくは子が4人いるなど欄が足りない場合は「その他」欄に記入してください。回答はお分かりになる範囲でご記入ください。不明の部分は空欄のままで結構です。

	おおよその年齢	性別		就労・就学			年金		生活保護		認知症		障がい		
		男	女	仕事を している	学生・就 学前	無職	年金受給あり	年金受給なし	受給あり	受給なし	認知症あり (「疑い」も含む)	認知症なし	障がいあり (「疑い」も含む)	障がいなし	不明
イ. 本人	歳	男	女	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	3
ロ. 配偶者(内縁関係含む)	歳	男	女	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	3
ハ. 子	歳	男	女	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	3
ニ. 子	歳	男	女	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	3
ホ. 子	歳	男	女	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	3
ヘ. (本人または配偶者の) 父	歳	男	/	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	3
ト. (本人または配偶者の) 母	歳	/	女	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	3
チ. (本人または配偶者の) 祖父母	歳	男	女	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	3
リ. (本人または配偶者の) 祖父母	歳	男	女	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	3
ヌ. その他(具体的な続柄: _____)	歳	男	女	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	3
ル. その他(具体的な続柄: _____)	歳	男	女	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	3
ヲ. その他(具体的な続柄: _____)	歳	男	女	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	3
ワ. その他(具体的な続柄: _____)	歳	男	女	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	3
カ. その他(具体的な続柄: _____)	歳	男	女	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	3

**問8 その人(世帯)は、支援に関わろうとした時点で、その地域にどのくらいの期間お住まいでしたか。**

1. 1年未満
2. 1年以上3年未満
3. 3年以上5年未満
4. 5年以上10年未満
5. 10年以上
6. 不明

**問9 相談支援の経過について教えてください。**

**(1) つないだ先はありましたか。**

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. つなぎ先があった | 2. つなぎ先はなかった |
|-------------|--------------|

「2」を選んだ方は  
問10にお進みくだ  
さい

**(2) つなぎ先があった方にお尋ねします。つないだ先はどこですか。つないだ先が複数ある場合は、支援の中心的な役割を担ったつなぎ先をひとつだけ選んで○をつけてください。**

1. 福祉事務所/市・区役所、町村役場の福祉担当部署(子ども家庭・高齢・障害など)
2. 市・区役所、町村役場のその他の部署
3. 社会福祉協議会
4. 保健関係機関(保健所・保健センター・精神保健福祉センター・発達障害者支援センターなど)
5. 障害関係機関(障害者相談支援事業所・就労支援機関など)
6. 介護関係機関(地域包括支援センター・介護事業所など)
7. 児童相談所
8. 保育所・幼稚園・認定こども園
9. 小・中学校
10. 子育て支援機関(地域子育て支援センターなど)
11. 生活困窮者自立支援機関
12. 就労支援機関(ハローワーク・地域若者サポートステーションなど)
13. 医療機関(病院・診療所など)
14. 警察・消防
15. 自治会・町内会
16. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

(3) つなぎ先があった方にお尋ねします。

(2) で回答したつないだ先は支援を実施してくれましたか。

1. 実施した
2. まだ実施していない(実施予定あり)
3. 実施しなかった(実施できなかった)
4. 不明(把握していない)

「4」を選んだ方は  
問 10にお進みくだ  
さい

(4) つないだ先が支援を実施しなかった方にお尋ねします。

つないだ先が支援を実施しなかった(できなかった)理由を  
お分かりになる範囲でご記入ください。

「1」「2」を  
選んだ方は  
(5) に  
お進み  
ください

(5) つないだ先が支援を実施した方にお尋ねします。

(2) で回答したつないだ先が実施した、あるいは実施予定の支援の内容として  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 年金・各種手当受給支援
2. 生活保護申請支援
3. 障害者手帳取得支援
4. 治療・受診の提供・利用支援(医療費・保険料減免手続き含む)
5. 障がい者福祉サービス等の提供・利用支援
6. 介護保険・介護関連サービスの提供・利用支援
7. 児童福祉サービス(保育サービス等)の提供・利用支援
8. 児童養護施設等への入所
9. 就学支援(例:学習支援・奨学金の申請支援等)
10. 住まいの確保支援
11. 生活困窮者自立支援制度の利用支援 (住居確保給付金の利用含む)
12. 就労支援・就労に向けた活動支援
13. 生活福祉資金貸付・小口融資
14. 専門家へのつなぎ(例:弁護士、司法書士、行政書士、税理士、公認会計士、通訳等)
15. 定期的な訪問
16. その他(具体的に:\_\_\_\_\_)
17. つなぎ先の支援の内容は把握していない

**問10 その人(世帯)に対し、ご自身で実施した支援はありますか。実施の有無にひとつずつ○をつけてください。**

※以下の選択肢には、一般的には民生委員・児童委員の役割とは考えられないものも含んでいます。  
住民からお願いされて、断れずに支援している委員がどれだけいるのかを把握したいという趣旨で設定している項目もあります。

	(1)実施の有無				(2)実施した場合の頻度 1,2を選んだ場合は その頻度について ○をつけるか、回数 ご記入ください。
	1. 民生委員 が単独で あるいは 民児協と して実施 した	2. 関係機関と 連携しながら 民生委員が 実施した	3. 特に 実施して いない		
イ. 継続的な 見守り・声かけ	1	2	3	週1回以上・月1回以上・年数回	
ロ. 家事手伝い (食事を作って届けた・ 掃除洗濯・買い物代行等)	1	2	3	週1回以上・月1回以上・年数回	
ハ. 外出・通院の付き添い	1	2	3	週1回以上・月1回以上・年数回	
ニ. 入退院の手続き支援	1	2	3	( )回	
ホ. 子どもの預かり	1	2	3	週1回以上・月1回以上・年数回	
ヘ. 登下校時の付き添い	1	2	3	週1回以上・月1回以上・年数回	
ト. 住まい探しの手伝い	1	2	3	週1回以上・月1回以上・年数回	
チ. 引越手伝い (荷物梱包・ガスや水道の 手続き・引越業者とのやりとり等)	1	2	3	( )回	
リ. 仕事探しの手伝い	1	2	3	( )回	
ヌ. その他	1	2	3	( )回	
(具体的に: )					

**問11 その人(世帯)が抱える課題・困りごとは現在どうなっていますか。**

1. 解決した (課題・困りごとが解消した)
2. 改善した (課題・困りごとが軽減した、周囲に支えてくれる人や機関ができたなど、状況が好転した)
3. 変化なし (課題・困りごとの状況、ならびに周囲に支える人や機関がない状況は変わらない)
4. 悪化した (課題・困りごとの状況が悪化、または支えてくれる人や機関が減った)
5. その他 (転居・入院・入所・死亡などにより支援が終結した、または担当しなくなった)
6. 把握していない

**問12 当該事例について、民生委員・児童委員として感じたことをご自由にご記入ください。  
必要に応じて、次のページの記入例を参考にしてください。**

**【その人(世帯)を支援する上で、何が一番難しかったですか】**

**【なぜその人(世帯)は社会的孤立となったのでしょうか】**

**【地域の人たちは、その人(世帯)をどのように見っていましたか】**

調査1の質問は以上です。引き続き、調査2にご回答をお願いいたします。

## 問 12 の記入例

### 【その人(世帯)を支援する上で、何が一番難しかったですか】

- (例) 訪問を約束した時刻に留守だったり、居留守をつかわれたりして、まったく人間関係が築けなかった。
- (例) ハローワークにつないだが、ハローワークには良い求人がないと拒否された。求職活動における愚痴の聞き役を続けているが、解決への糸口が見えない。
- (例) 車がなくて買い物に行かれない高齢夫婦のために、買い物をして届けている。しかし、「ほしいものと違った」と言われたり、急に電話で買い物を頼まれたりして負担が大きい。

### 【なぜその世帯は社会的孤立となったのでしょうか】

- (例) 同居している内縁の夫がアルコール依存症で、近隣から疎まれている。認知症の母が徘徊するので、近隣の協力を得て見守りをしたいが関わりあいたくないと思っている人が多く、協力してくれる人が見つからない。
- (例) 息子は老親の介護を理由に就労しようとしませんが、介護疲れのためか時折怒鳴り声が聞こえてくる。地域包括支援センターが、サービスの利用を勧めたが拒否され、その後はドアを開けてくれなくなった。

### 【地域の人たちは、その人(世帯)をどのように見ていましたか】

- (例) 分別せずにゴミを出して回収されず、ゴミが集積所に残ってカラスが散らかすなど、迷惑な世帯だと思っている住民が多い。
- (例) 夜中に大きな音量でテレビゲームをしている音が聞こえてきて迷惑だとアパートの隣室の住民が言っていた。